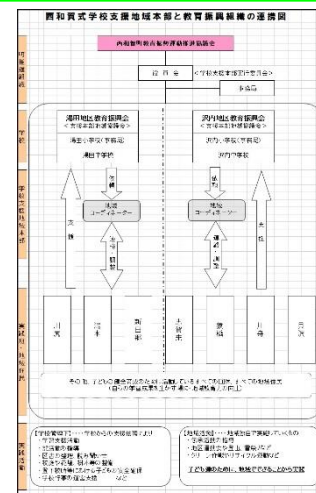


「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動の取組事例

「西和賀町学校支援本部事業」(岩手県 西和賀町)

取組の概要や経緯

平成23年に町内7校の小学校が2校に統合され、学校区域が広範囲になったことにより、地域と学校のつながりが薄れていくことが危惧された。旧小学校区単位7実践班からなる西和賀町教育振興運動推進協議会と連携し、地域全体で学校教育を支援する体制の構築、充実を図っている。



西和賀町
学校支援地域本部と教育振興組織の連携図

内容

地域コーディネーターが地域と学校との連絡調整を行い、学校支援活動に対する地域の協力体制を強化。

【読書ボランティア活動】

朝自習時に各教室でボランティアによる読み聞かせ。学校図書室の配架等の補助。

【なべっこ遠足ボランティア活動】

ボランティアが遠足に同行し、自炊活動の補助

【学校農園・田作業のボランティア活動】

学校の田畑の耕起から収穫までサポート

【地域コーディネーターによる広報紙作成活動】

広報紙を作成し、ボランティアが協力する学校行事等の様子を紹介。



ポイント

- ① 広報紙の発行により、ボランティアの活動の様子を住民へ周知。
- ② PTA会員に対して、ボランティア参加希望調査を行い、ボランティア名簿を作成。
- ③ 年度終わりにボランティア協力者、ボランティアを受けた側(学校、子ども達)に対してアンケート調査を行い、当該年度の振り返りと次年度活動の方向性を探る。

成果

- ① 広報紙の発行により、ボランティア活動の様子を住民へ周知することで、学校支援活動への理解を図ると共に、新規ボランティアメンバーの加入促進に繋げている。
- ② ボランティア名簿を作成することで、各行事で必要なボランティア数の確保を円滑にしている。
- ③ アンケート調査により、ボランティア協力する側、される側の思いを理解し、お互いが気持ちよく活動ができている。
また、学校が必要とするボランティアを調査することで、学校、コーディネーター、町の三者により次年度以降円滑に活動できる体制を整備している。



湯田地区広報紙
「おがれよ、わらしこ!」



沢内地区広報紙
「てととて!」

今後の方向性

- ・ 学校・コーディネーター・町による三者の連絡会を定期的に行い、意思疎通を図る。
- ・ 「西和賀体験指導者情報」を整備し、学校で必要とする講師検索を容易にする。
- ・ コーディネーターの後継者育成を図る。